

# ハロー&ハロー

No.52

発行：社会福祉法人わかたけ

〒510-0961 三重県四日市市波木町1335-1

電話 059-321-4149 FAX059-321-4167

URL/<https://wakatake-mie.com>

2024年12月6日発行

## さつまいも 収穫祭

### らふかっとが管理する 赤水町の「四日市市ふれあい農園」で



10月19日、赤水町の四日市市ふれあい農園で、「さつまいも収穫祭」が行われ、市内の福祉事業所や障害者団体から大勢の皆さんが集い、楽しい一日を過ごしました。

「障害のある人の社会参加と障害者福祉に対する啓発の場」（四日市市障害者計画）をめざして運営されてきたこの「ふれあい農園」は、10数年前から、らふかっとが四日市市からその管理の委託を受け、農作物の植え付けと手入れ、年2回の「収穫祭」の開催、休憩所の建物の清掃や管理を行っています。収穫祭に向けては、障害者団体などから代表を出して、実行委員会を組織して、参加者みんなが楽しめる集いづくりをめざして準備を進めています。

（次のページに続く）

(前ページから続く)

# 今回の収穫祭は、 みんなで牛糞を買いに 牧場に行くところから

今回の収穫祭は、3月に牛糞を買いに牧場に行くことから、その準備がスタートしました。

牛に会えるのを楽しみに利用者と職員も、ワクワクしながら牧場へ向かいました。牧場では牛に触らせていただきました。嬉しそうに手を伸ばす人もいれば、嫌がって手を引っ込める人もいました。ちょうど子牛を出産する牛がおり、静かに遠くから「がんばれ～」と励ましの声をかけてきました。

トラックに積んでもらってきた牛糞を、農園で一輪車におろし、畑に牛糞をまく仕事に汗を流しました。

収穫祭当日を迎えるために、草取りや掃除、参加券の作成などみんなが一丸となって取り組んできました。

当日は、雨が降るのではないかと心配しましたが、収穫祭の無事終了の直後に降り出した雨。日頃の行い、みんなで頑張ったご褒美の気がしました。

利用者みなさんも収穫を楽しみ、参加していただいた方々も笑顔が見られ、収穫祭は成功裏に終わりました。採れたサツマイモはみんなで袋詰めをして、らふかつとの利用者の手から、参加していただいた方々ひとりひとりにあいさつをして手渡しました。

今度は春に玉ねぎ収穫祭があります。誰でも気軽に参加できるので是非みなさん参加して、楽しんでいただきたいと思います。(黒田)



皆さんで収穫したサツマイモは袋に入れて、参加の皆さんに持ち帰っていただきました。

わかたけホーム

# ホーム体験利用を 仲間や家族の経験の選択肢の一つとして

わかたけホーム（第3ホーム、第4ホーム）には、入居者が生活する居室のほかに、もう一室空いている部屋があります。ホームに入居していない仲間や、ときどき体験的に利用してもらうための部屋です。

この体験利用を活用してホームで過ごす仲間は何名かいますが、家族の都合（家族の病気やケガ、急用など）で、緊急的にホームを利用することが増えています。また、ご家族が高齢になってきたことを受けて、将来親との離れた生活をイメージし、練習の機会として利用される方もおられます。

ホームを体験利用される仲間を見ていて思うことがあります。それは、あらかじめ親や家族と離れて生活する経験が、仲間の将来にとってたいへん重要なことだということです。特に家族の急病などで、緊急的にホームを利用する場合は、仲間自身にしてみれば、急激な変化であり、大きな戸惑いがあります。また、受け入れる側の職員からしても、対応に苦慮することになります。

これまでを振り返ってみても、はじめてホームを利用することになった仲間が不安になるのは当然です。しかし、夕食までなどと時間を限った体験から始めてみる、一泊してみる、何日か続けてホームで過ごしてみる、といったように、それぞれの仲間の実態や家庭の状況に合わせてホームでの体験を重ねることによって、親と離れた生活にも自信や安定感を持つようになりました。

そして、急にホームを利用することになった場合でも、これまでの経験が活かされ、仲間にとっても、職員にとっても柔軟に受け入れることができるようになりました。また、ご家族にとっても我が子がホームを利用することに安心感が得られたことは、良いことだと感じています。

まだ、うちは家族でみられるから大丈夫というご家庭は多いと思います。ただ、将来に備えるため家族と離れた生活をする経験を積む、困った時に家以外で安心して利用できる場所として、グループホーム体験を選択してみるのも一つではないかと考えています。

（西田）



お風呂の前のゆったりしたくつろぎの時間です。

## できるだけ家事も自分で 洗濯、掃除…



グループホームであっても、生活をしていく以上洗濯や掃除などの家事が必要です。すべての家事を職員がするというのではなく、仲間たち自身もできることは自分でするようにしています。できるのに職員に甘えてしまう方もおられますが…。

洗濯物を干す、拭き掃除をするといったことを、ホームで少しずつでも経験するなかで、家事に興味を持ち、自分でやってみようとする仲間も現れてきます。また、自分のやることに磨きをかけて上達しようとする仲間もいます。普段の生活で何気ないことでも、仲間たちの努力や頑張る姿がそこにあります。(西田)

## わかたけ萩の里 ウォークラリー方式で 公園を歩く

今回のレクリエーションの目的は「体を動かす」です。3つの班それぞれが3日に分かれて、南部丘陵公園に行きました。

ウォークラリー方式で2か所のポイントまで歩き、スタンプを押してもらい、スタンプが貯まったらお菓子とジュースと交換できるようにしました。みんなで楽しく笑いながらポイントまで歩きました。

お菓子やジュースをゲットし、休憩する場所で食べたり飲んだり楽しく過ごしました。その後は自由行動で動物を見に行きたい人や公園で遊びたい人に分かれて遊びました。3日とも天気に恵まれ、とても気持ちがいい日になりました。(中嶋)



# 映画「チョコレートな人々」をみて 温めれば何度だってやりなおせる

私は、10月に四日市市の人権学習の関係で「チョコレートな人々」という映画を観ました。この映画のこととわかたけの仲間の働くということについて、思いをはせました。

東海テレビ制作のこの映画は、30年以上にわたって愛知県豊橋市の夏目浩次さんが障害者を含めて多様な人たちの働きやすさ、そしてしっかりと稼ぐことができる職場づくりをめざした物語です。はじめは20数年前に始めた小さなパン屋さん、現在は「久遠チョコレート工房」として、多様な人々が幸せに生きていくための仕事場となっています。

「温めれば何度だってやりなおせる」というキャッチフレーズで進め、アイデア次第で付加価値が高まる魔法の食材として、製造販売が進められています。代表の夏目さんとその仲間たちの奮闘ぶりと、そこでの障害者の受け入れ、彼らの低い工賃に対し、最低賃金を保証するよう売り上げを伸ばす取り組みには、目を見張るものがありました。

さて、このところときどきグループホームのお手伝いで、夜勤や休日の日勤に入らせてもらって、利用者の生活やお話を聞く機会があります。ホームでの生活は、どの方もひとり一人、その方のペースで落ち着いて、楽しんでいる姿は本当にほほえましく感じます。

Yさんは「らふかつとのクリスマスのクッキーの注文は？ おいしいよー」と話しかけてくれ、今らふかつとで大忙しのクリスマス商品の宣伝をしてくれます。また、萩の里に通うHさんは、「明日のお仕事、アルミ缶するん！！ お仕事頑張らなあかん！！」、Kさんは「カラオケ行くの！」「お買い物するわ」と・・・話してくれます。

作業をして、お給料をもらうことを結びつけて、日々やりがいを持っている姿には、素晴らしいものがあります。

また、映画の最後のほうで、障害の重いダウン症の方の作業がなかなか集中できないところに、職員が工具を見直し工夫して、彼がその作業におもしろさを感じて、向かう様子が描かれていました

わかたけの作業工賃・給料は決して高いものではありません。私たちもこの状態に甘んじてはいけないのだなあーと思い、また、いろいろな利用者がかかわれるように作業の工夫を追求していくことが大切であると思つづく思いました。 (理事長 稲垣恵子)



## きょうされんのコンクールに入賞

「きょうされん」の第16回グッズデザインコンクールにわかたけ萩の里の山内開斗さんの「雪のトナカイ」が入賞しました。

2025年の「はたらく仲間のうた」カレンダーの12月に採用されました。

# ささえる会のページ 今年も内部地区文化祭に出店させていただきました

当日の天気が少し心配されましたが、11月10日(日)は予定どおり内部小学校で「内部地区文化祭」が開催されました。毎回、わかたけも出店させていただいていますが、今年も仲間が作ったクッキーや手作り品、ジュースなどの販売、そして輪投げゲームなどを出させていただきました。今年も地域の人たちが実にたくさん参加されて大盛り上りの文化祭となりました。



輪投げには、子どもたちの長い列ができました。

毎年行っている「わかたけの輪投げゲーム」は子どもたちにとって一番のお目当て? のようで、途切れることのない長蛇の列・・・。午後1時半頃にはゲームの景品は無くなるほど。また用意した販売物もほとんど売り切れるほどでした。販売物の個数を決めるのは難しいですが、もっと用意すれば良かったと思えるほどの盛況ぶりでした。

わかたけの後援会である「わかたけの明日をささえる会」として販売や輪投げゲームの出店をさせていただきましたが、その収益は「ささえる会」の資金として、わかたけの事業や仲間たちに必要な備品購入などにも還元されます。わかたけがこのような地域の催しものに出店し参加させていただける機会は、数年前のコロナ感染の後、少なくなってきましたが、今回も仲間たちのご家族や職員の方たちに、当日までの準備から当日の販売担当までたくさんのご協力をいただきました。皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(わかたけの明日をささえる会事務局長  
中村 峰晴)

輪投げの景品のぬいぐるみや文具などは、たくさんの方からご提供いただきました。





## わかたけの明日をささえる会 からのお願い

### バザー品やゲームの景品のご提供のお願い

地域の行事にバザーを出店させていただくときに必要な物をご提供ください。リサイクルバザーに出す品物（日用品などで新品の物）や輪投げなどのゲームの景品（ぬいぐるみ、おもちゃ、キャラクターグッズ、文房具など子ども対象と思われる品物）などのご提供にご協力をお願いします。

### 夏、冬の物品販売のご購入のお願い

ささえる会では、夏と冬の時期などに、物品販売の事業を行っています。「きょうされん」が斡旋する食品や日用品をはじめ、麺類やチョコレートなどを皆さまにご購入いただいています。この販売の売上による収益が、ささえる会からわかたけの仲間たちに還元されます。

多くの皆さまにご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

### あなたもわかたけの応援団に！

#### 「わかたけの明日をささえる会」への

#### ご入会・ご更新のお願い

「わかたけの明日をささえる会」は、障害のある人たちのことを地域の人とともに考え合い、仲間たちの未来を拓くために活動しています。ご入会・ご更新をよろしくお願いいたします。

一般会員（個人）	年会費	1口	3,000円
賛助会員（団体）	年会費	1口	10,000円
郵便振替	00830-9-130243		
名義	わかたけの <sup>あす</sup> 明日をささえる会		

### 「おこしやす券」をご活用ください

「ささえる会」にご入会・ご更新いただいた方に、「おこしやす券」をさし上げています。

わかたけ萩の里やらふかつとの仲間たちの手によるクッキーや野菜などのご購入に、またわかたけのイベントなどでもご利用いただけます。ぜひともご活用ください。

## 新職員の紹介



### 服部 多加美です

11月よりサポートテラスわかたけでお世話になります。笑顔をもっとに皆さまのお役に立てるように努めて参ります。よろしくお願いいたします。

### 岡 宏憲です

11月中旬よりリサイクルグループでお世話になっております。福祉関係で働くのは初めてで慣れないことも多いですが、ご指導よろしくお願いいたします。趣味は輪行（自転車の車輪を外して車体と車輪を袋に入れ電車で移動）で、JR関西線で奈良や京都に行くこと（コロナ以降してませんが）、上手ではないですがギターを弾くことです。よろしくお願いいたします。



### 北口 洋子です

9月より萩の里の調理スタッフとしてお世話になっております。先輩方にいろいろ教わりながら、日々成長していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



### 法人・施設日誌（2024年8月～2024年11月）

- 8月 高花平ふれあい夏まつり販売（らふかっと）
- 9月 介護等体験受け入れ（わかたけ萩の里）、わかたけの明日をささえる会役員会、わかたけ利用者と家族の会
- 10月 わかたけ萩の里防災訓練、イオン四日市尾平店周年祭販売（わかたけ萩の里）、聖母の家学園実習受け入れ（らふかっと）、ふれあい農園収穫祭（らふかっと）、わかたけの明日をささえる会事務局会議  
貝家地区清掃活動、笹川地区清掃活動
- 11月 健康診断、インフルエンザ予防接種、らふかっと日帰り旅行（長島リゾート）、らふかっと防災訓練、高花平秋まつり販売（らふかっと）  
常盤まつり販売（らふかっと）、聖母の家学園祭販売（らふかっと）  
わかたけ第3・4ホーム防災訓練、内部地区文化祭出店（わかたけの明日をささえる会）、わかたけの明日をささえる会事務局会議、わかたけ利用者と家族の会、きょうされん全国大会滋賀に職員参加

## ご寄付ありがとうございました

### 法人・施設にご寄付いただきました。

室田ミチ子 様

**「わかたけの明日をささえる会」にご寄付いただきました。日頃からのご支援ありがとうございます。**

中西優子 様 野呂佐利 様 水野 剛 様  
池田高子 様 長田三芳 様 (有)中部商会 様  
佐々木知子 様 遠藤正二 様 藤岡アンリ 様  
堀 保 様 松長美英子 様 小川真理 様

**「わかたけの明日をささえる会」の賛助会員としてご協力いただいています。**

(株)セフティシステム 様 スズカン株式会社 様  
生活介護事業所かしの木 様 清蓮寺 様

## 四日市内部障害者福祉会様より 電動刈払機を 寄贈していただきました

四日市市身体障害者団体連合会 四日市内部障害者福祉会（榎原幸一会長）様より、電動の刈払機を寄贈していただきました。

軽くて扱いやすく、畑や敷地内の草刈りに活用させていただいています。